

ALL for ONE

Corporate Communication Magazine

Vol.10



Are you ready?

やり抜く力

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

月



世界へのプレゼンスを持つ。
(発信力・影響力・発言力)

真の日本人としての価値観を日本国・世界に
提供する企業グループとなり、
商品・サービスを通じて誇りあるブランドを構築する。

————「軸」————

世界のどこに出ても恥ずかしくない仕事をし、
人として頼られる存在となる。

!! あなたがこの企業グループを飛躍させる !!

意識があるからこそ知見・教養が身に着く!!

Communication × Speed



Innovation



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津 基弘

あなたたちは出来る!!
やれば出来る!!



行動規範を基に 「やり抜く力」を身に着けよ！

日本カバヤ・オハヨーホールディングス副社長

堀井 秀則

前号のALL for ONEに掲載されたカバヤ・オハヨーグループの「行動規範」。
これまでALL for ONEの誌面を始め、さまざまな場面で発信されてきた内
容が凝縮されたものであり、皆さんにとっても違和感のない内容だと思いま
す。行動規範の実践と「やり抜く力」の重要性について、ホールディングスの
堀井秀則副社長より管理職向けの講話がありました。

堀井流 行動規範

「仕事遊び 遊びが仕事」

目標を
100%
達成する

10% 契約の仕事

40% 自己の知見と
教養を深める

50% フリータイム

- 脱サラリーマン
- 自分で責任を取る
- 泥臭いスタイル
- 努力を惜しまない

■やり抜く力を持つこと

ここ数年、成功するための最も重要な要素として「GRIT（グリット）」というキーワードが注目を集めています。これは「やり抜く力」と言い換えられるもので、飛び抜けた天才や、ずば抜けた知性の持ち主でなくても成功できるという話です。2013年、米国でマッカーサー賞を受賞するほど優れた研究成果を基にしており、教育、ビジネス、スポーツ界のみならず、ホワイトハウス、陸軍士官学校などで導入されています。

飛び抜けた才能や学歴は関係ありません。どんな環境でもくじけることなく最後までやり抜く力を持たなければなりません。

■「情熱」×「粘り強さ」

やり抜く力は2つの要素から成り立っています。それが「情熱」と「粘り強さ」。情熱とは、興味を持ち、好きになるということ。自分の最も重要な目標に対して興味を持ち続け、ひたむきに取り組む力です。情熱があれば人は動ける。そうすれば肩書など関係なく、いろんな人と出会い仕事ができる。もう一つの粘り強さとは、困難や挫折を味わっても諦めずに努力を続けること。大切なのは「明確な目標を持つ」ということ。よくある例えですが、あるレンガ職人に声を掛けたとき、「レンガを積んでいる」と答えるのか、「教会を建てている」と説明するの

か、「歴史に残る大聖堂を造っている」と大きな目標を語るのか。そこには大きな違いがあります。

成長志向を持ち、楽観的に考える。逆境にあっても、粘り強く考え抜いて行動する。歴史に残るような事業を成し遂げた人たちは、みんなそういうことを取り組んでいるのです。「できた」と「やり抜いた」は大きく違う。そこには一流と二流の違いがあります。

■行動規範を具体的な目標に

著名な投資家のウォーレン・バフェット氏は、毎年25個の目標を書き出し、その中から5つを徹底し、集中して取り組むそうです。残りの20個には一切手を付けない。そのくらい集中して目標達成に向け突き進んでいます。

前回、ALL for ONEで発表された行動規範について、全部を一度に進めようとするのは難しいと思います。ならば、「今年は特にこの3つを重点的に取り組もう」という進め方もあるはずです。自分で目標を定め、具体的な計画に落とし込んで、この1年間でどう進めるのか、実際にどうだったのかを評価をしてください。

一人ひとりが行動規範を実践すれば、一人ひとりが成長し、会社はもっと強くなり、面白い仕事が楽しく快適にたくさんできるようになると思います。よろしくお願いします。

オハヨー乳業株式会社

10年ビジョン

世界をターゲットに、
真の欲求（圧倒的なおいしさ・健康・美）を
満たす価値を“食”という形で届ける。
医療に依存しない“食”を提供すると同時に
市場に対する教育を行う



ジャージー牛乳プリンをはじめ、ヨーグルト、アイスクリーム、焼プリンなど、さまざまなこだわりを持った商品を全国に届ける牛乳・乳製品メーカー

カバヤ食品株式会社

10年ビジョン

カバヤ食品再生。
Give me chocolateから
We have caramelの精神を礎に
「子どもたちに夢と希望を与え、
菓子業界を内から変え、
日本を代表する会社となる」



チョコレート、クッキー、キャンディ、グミ、清涼菓子、玩具菓子を製造、販売する総合菓子メーカー。「さくさくぱんだ」でハラル認証を取得するなど海外展開を視野に商品開発、ブランド育成を目指す

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

10年ビジョン

循環型環境ビジネスであるCLTなど、
住に関わる価値ある事業へ挑戦し続け、
人々の暮らしに密着した
「人生をデザイン」する企業として
社会に貢献する



40年を超える信頼と実績により岡山県内と広島県で年間受注棟数約700棟を販売。2016年CLTを使った日本初の展示場をオープンし、木造の戸建て住宅から高層ビル建築までを一手に手掛ける木造ゼネコンを目指す

フジ物流株式会社

10年ビジョン

流通⇄メーカー⇄サプライヤーという
階層を横断したDCMとSCMが融合する
需給コントロールとその付帯業務の提案、
実務が提供でき、全国エリアでの
資材調達物流から製品輸配送までも
提案・提供できる企業を目指します



乳製品などのチルド日配品、アイスクリームなどの冷凍食品、菓子など常温品を全国へ輸送し、エリアごとの協力会社と共同配送で商品を提供

エクセルパック・カバヤ株式会社

10年ビジョン

紙器に限らないあらゆる包装材を提供し、
「真の欲求を満たす製品・商品」を
消費者の手に届けることで、
社会的意義を果たしていく



商品パッケージや板紙（紙容器や段ボールなどに使用される厚紙）の印刷、成形を手掛ける紙器メーカー。市場ニーズの高い短納期小ロット生産体制を構築し、活躍の場を広げている

株式会社イケダペットファーム

10年ビジョン

「動物を愛するすべてのお客様」を対象に、
動物飼育のエキスパートとしてペットとの
暮らしをトータルでサポートすることで、
お客様の真の欲求「家族の一員であるペットと、
少しでも長く、楽しく、共に過ごしたい」を
満たす



ペットショップを全国13カ所で展開。イヌ、ネコなどのペット、ペット用品の販売、トリミングなどのサービスに加え、京山店では動物病院も併設

THE ROYAL GOLF CLUB

10年ビジョン

**ゴルフ界を変える
世界に通用するコース
世界に通用する選手を育てるコース
世界から尊敬されるゴルファーが集まるコース**

東京レジャー開発株式会社

10年ビジョン

**ゴルフの楽しさを広めることで、
人々の心と体を健康にする**



世界基準のザ・ロイヤル ゴルフクラブ（茨城県）を筆頭に、富士山を望む富嶽カントリークラブ（静岡県）や練習場に加え全9ホールのショートコースが人気のカバヤゴルフガーデン（岡山県）など、全国6カ所でゴルフ場を運営

システムメイト株式会社

10年ビジョン

**グループ内におけるITの専門集団として、
ITでグループの発展を牽引するとともに、
自分を含むグループ全従業員の働きやすさも
追求していく**



パソコンから汎用機まで幅広く手掛けるソフト開発企業。技術と信頼にこだわり、若い力が中心となってシステム開発から保守まで、きめ細やかなサービスを提供

株式会社スクエアビル

10年ビジョン

**スクエアビルブランドを構築することで
価値を共有できるテナントを集積し、
地域の価値を高めます**



岡山駅前の一等地に立地する「ターミナルスクエア」の管理・土地運営。岡山駅前の好立地を最大限に生かし、「入居したいオフィスビルNo.1」を目指す

株式会社瀬戸内海経済レポート

10年ビジョン

政策提言のできるシンクタンクとして政・財界を
繋ぎ、広報・メディアを通じて岡山の企業を
サポートし活性化することで
真の地域貢献を果たす



岡山の経済情報を発信する「週刊Vision 岡山」、企業の業績などをまとめた「岡山企業年報」を発行。地域に密着した「使える」情報を発信し続ける

トータルアシスト・カバヤ株式会社

10年ビジョン

グループ各社の従業員とその家族の安心を
提供する（社会に対して間接的に貢献する）



保険会社の各種損害保険（自動車、火災、傷害、医療、がんなど）、生命保険を取り扱う保険代理店。事故防止の啓もう活動や安全運転講習会を開催し、事故削減に努めるなどグループ社員の「安心」をサポート

OIC 三友学園教育グループ

10年ビジョン

突破せよ！OIC「誇りあるOICブランド」の
確立を強力に推進し、
世界に新しい教育基準を発信する

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス・希望高等学園

10年ビジョン

やる気があれば誰でも入学し、卒業できる学校。
三備一作を視野に入れた新タイプの高校



専門学校岡山情報ビジネス学院は、地元への教育分野における社会貢献を目指し1985年に創立。就職決定率は99.2%で県下No.1。自由高等学院は、クラーク記念国際高等学校の技能連携校（全日制）、希望高等学園は、同高校の教育連携校（通信制）として、心の通う教育を実践



笑顔で楽しく、もっとトップと会話し、 仕事に取り組もう！

日本カバヤ・オハヨーホールディングス
シニアアドバイザー・海外事業担当

マルセル・ベルト氏

カバヤ・オハヨーグループは、2017年2月、ロサンゼルスとシンガポールに現地法人「International Foods & Sweets Inc.」を設立し、海外展開をスタートしました。世界に向けて発信する強い信念を持った商品開発が急務の中、海外ビジネスに精通するマルセル・ベルト氏に、海外展開の可能性、グループ会社の印象などを聞きました。

——日本の食品業界はどんな印象ですか。

海外に比べて日本は食品メーカーの数がかなり多いです。また、和食、洋食、中華などかなり細分化されています。商品のパッケージもデザイン性に富んでいて、選ぶ楽しさがありますね。企業規模に関わらず、「顧客目線」で事業を展開しているところが素晴らしいと思います。100円の商品でも消費者の意見を反映させていますよね。また、顧客のニーズがあるからと赤字で販売している商品もある。これは海外では考えられません。利益率を前提に商品を開

発するからです。ビジネスとして成り立たない商品は絶対に作りませんからね。だから海外メーカーは日本市場に本格参入しにくいのです。

——カバヤ食品、オハヨー乳業の海外展開の可能性は。

両社の商品はとてもおいしい。先日、オハヨー乳業が4月に発売するアイス「ブリュレ」を試食したのですが、本当においしかったです。**海外でも売れると思いますよ。**ただ海外で販売するには、**明確な戦略が必要です。**日本とは流通形態がまったく違いますからね。オハヨー乳業の場合、現地での生産体制をどうするかが問題です。カバヤ食品の商品は輸出が可能です。ただアメリカで販売するには、現在の商品では内容量が少ない。そのほかにも課題は多いですが、時間を掛けて取り組みればクリアできると思います。

——グループ社員の印象は。

やはりコミュニケーションが少ないと思います。特に、一般社員が上司に話し掛けるような場面が少ない。雑談も含めて、もっと上司や役員、経営者にも話し掛けて、自分の考えを伝えてほしい。もちろん、会社の戦略を理解していることが大前提です。会社は船と同じです。経営者を含め社員はそのクルー。決まった航路を一人の乗組員が変えることはできません。その船に乗った以上、すべてを共にしなければならない。一蓮托生なのです。

海外の優良企業で働く社員は、**立場を気にせず、本当によくコミュニケーションを図ります。それも大きな声で(笑)。**だから、おのずと社内の雰囲気明るくなり、みんな笑顔で楽しく仕事に取り組めるのです。自分の意見を言わないと会話が成り立ちませんし、人間はだれかと話すことでアイデアが浮かんでくるのですから。

また、**経営者はすべてにおいて、言いたいこと、伝えたいことをハッキリ言います。それは会社を良くしたい、社員を大切にしたいという強い想いがあるからこそなのです。**その想いに応えるために、社員は自分の意見を言わなければならない。同じ船に乗っているクルーなのですから。

——アドバイザーとしての役割は。

私は野津基弘社長の人間性を尊敬しています。個性的で明るい性格が好きです。だから経営もうまくいってほしい。そのためには海外戦略に対する私の考えを正直に伝え、意見することが役割だと思います。野津社長もそれを望んでいますからね。グループ会社の繁栄のために協力を惜しみませんよ。

——ブランド構築において一番大切なことは。

まずは「バリュー」をつくること。それによってアンブレラ・ブランドを何にするかが決まります。そして、それをどう展開するか戦略が必要になってくる。私はビジネスで訪れた国の文化を最初に調べます。特に食文化。これを見ればその国の大体のことが分かります。そして、市場に行き、人の動きを観察しています。皆さんももっと人に興味を持ち、コミュニケーションを図ることで、楽しみながら仕事に取り組み、アイデアを生み出してほしいですね。



マルセル・ベルト氏

2006年ヤクルトベトナムとヤクルトダノンインドの取締役就任。15年にダノン・デイルー・ジャパンの副社長を務める。2016年12月、日本カバヤ・オハヨーホールディングス シニアアドバイザー・海外事業担当に就任。

カバヤ×オハヨー合同インターンシップ開催



カバヤ食品、オハヨー乳業は、2月17、24日、紀尾井町オフィスとカバヤ食品本社で「カバヤ×オハヨー合同インターンシップ」を開催しました。

食品業界に興味のある学生にグループのつながりや会社の方向性、雰囲気などを知ってもらい志望度を高めようと合同開催しました。

17日は紀尾井町オフィスで32人、24日はカバヤ食品本社で42人が参加し、若手社員を交えての座談会やグループワークなどを実施。商品開発の話など興味深い内容に会場は大いに盛り上がり、学生にとって満足度の高い1日となりました。

今後も効率的に学生にPRしようと、両社合同で年4～5回ほど実施する予定です。

協力会社との情報交換会開催



エクセルパック・カバヤは、2月17日、岡山市北区のターミナルスクエアで、品質改善に向けた情報交換会を開きました。

昨年に続き、2回目の開催。同社の社員と協力会社15社約40人が参加しました。桑田訓克取締役工場長は、「お互い刺激し合い、ともに成長していきましょう」とあいさつ。その後、エクセルパック・カバヤの事業活動や策定した中・長期経営計画を発表し、参加者の理解とより一層の協力を求めました。

情報交換会では、協力会社の発表に加え、初めてエクセルパック・カバヤも事例を紹介。登壇した3チームの社員は真剣な表情で発表していました。現在も社員を協力会社に派遣し現場研修するなど、品質向上に向けた取り組みを加速させています。

ザ・ロイヤル ゴルフクラブで廣戸道場開催



東京レジャー開発が運営するザ・ロイヤル ゴルフクラブで、2月16、17日の2日間、独自の身体理論を提唱する廣戸聡一さんが若手プロゴルファーらに4スタンス理論のレッスンを実施しました。

4スタンス理論を学ぶことによりパフォーマンス向上を図るのが狙いです。4つある身体のタイプから、自分の身体の型を教えてもらい、それぞれに身体の使い方を学びました。選手たちは身体の軸の重要性を体感することができたようで、「スムーズにスイングが出来るようになった」と、自身の身体の動きの変化に驚いていました。

今後も、廣戸さんのレッスンを定期的に実施し、世界に通用するアスリートの育成に尽力する考えです。



453人が学び舎を巣立つ



専門学校岡山情報ビジネス学院は、3月7日、2016年度の卒業式を開きました。15学科453人が、思い出を胸に学び舎を巣立ちました。

榊原俊章学院長は「本校で学んだことを誇りにし、『やるときはやる。遊ぶときは遊ぶ』を忘れず、いつまでも健康で前向きに夢を持って輝き続けてください」とはなむけの言葉を贈りました。また、卒業生を代表して診療情報管理士学科の遠藤真央さんが「学校での経験から得た自信を胸に新しい世界に飛び込んでいきます。仕事に使命感を持ち、時や場所を超えて人と人をつなぐ懸け橋になれるよう頑張ります」とあいさつ。在校生や教員との別れを惜しみつつ、それぞれの夢に向かって新生活をスタートさせました。

スーパーマーケット・トレードショーに出展



カバヤ食品、オハヨー乳業は、2月15～17日の3日間、幕張メッセで開催された2017スーパーマーケット・トレードショーに出展しました。

(一社)新日本スーパーマーケット協会が主催する国内最大規模の展示会。今回、オハヨー乳業は「プリュレ」と「ジャージー牛乳プリンカフェラテ」、カバヤ食品は「塩分チャージタブレッツ」と「さくさくぱんだ」「ピュアラलगミ」「ノイジャーキー」をブランド育成商品としてPRしました。

3日間で8万6768人が来場。両社の商品は各小売業の社長やバイヤーなどに高く評価してもらい、「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」両社のブランド戦略の下策定された中・長期経営計画の本格スタートに大いに弾みのついたイベント参加となりました。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス推薦図書感想文



オハヨー乳業
森本繁範さん

読んだ推薦図書

「マネジメント 基本と原則」P.F.ドラッカー

この本を読んで感じたのは、基弘社長が普段から発信されていることそのものであるということです。たとえば、顧客中心の考え方を深めることや意思決定に時間を掛けるなど、なぜそうしなくてはならないかがよく分かる本です。一番心に残っている部分は、「戦略とは『われわれの事業は何か、何になる、何であるべきか』との問いへの答えである」という部分で、常に自分自身に問い掛けながら、その答えに従って行動したいと思いました。

小さい文字で約300ページある本ですが、これを読んでマネジメントの根本を理解し、グループ社員の皆さんに、変化の重要性を理解してほしいです。



カバヤ食品
根井良江さん

読んだ推薦図書

「7つの習慣」スティーブン・R・コヴィー

ビジネス書というカテゴリーですが、自己啓発本であり、育児本としても参考になる本でした。第5の習慣では「理解」について書かれています。子どもと接する時、まずは共感することが大切。頭では分かっているけど、つい頭ごなしに怒ってしまうことがあります。結局、子どもに伝えたいことは伝わらず、お互い嫌な気持ちだけが残ってしまうのです。仕事においても、相手を「理解」しながらコミュニケーションを図ることが大事だと思っていましたが、「相手の話を聴くときに、決して理解しようとして聴いているわけではない。次に自分が何を話そうか考えながら聞いている」という一文にハッとさせられました。

本の厚さに圧倒されて、手が伸びない方も多いと思いますが、気軽な気持ちで読み始めてみてください。日常生活に生かせる習慣が満載です。



システムメイト
仁木裕美さん

読んだ推薦図書

「道をひらく」松下幸之助

パナソニックの創業者であり、経営の神様と呼ばれる松下幸之助さんのエッセイです。経営哲学について難しい言葉を並べて書いてあるのではなく、人生哲学についてだれにでも分かる言葉で書かれていました。発刊されたのは今から約50年前ですが、「なるほど」と納得する点がいくつもあり、いつの時代のどんな人が読んでも納得できる普遍性を持った本だと感じました。文中には「謙虚」という言葉が何度も出てきます。生きていれば、ごう慢になってしまう時もありますが、そんな時この本を読んで、素直に、謙虚さを忘れずに人生を歩んでいこうと思いました。



オハヨー乳業
梶島亮太さん

読んだ推薦図書

「スティーブ ジョブズ」ウォルター・アイザックソン

スティーブジョブズは会社の経営、製品の設計、広告とすべてをシンプルにしたいと書いていました。当社でシンプルを追求するということは、「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」という志を持ち、全社員が一つの志に向かっていくことだと思います。その状態を継続できれば、動きに無駄がなくなり、洗練された状態になると私は考えます。

また、「彼らのニーズや思い、動機などを検討すれば、彼らが望むものを提供することができる」と語っています。高い志に向かっていくパワーがジョブズは人並み外れていました。ときには周囲と衝突しながら必死に既存のモノを変化させていきました。その積み重ねにより過去から現在に至るまで、イノベーションを生み続けているのです。

基弘社長もジョブズと同じように、強い志があると思います。その強い志に振り落とされないよう、意識を高めて日々の業務に取り組みます。



オハヨー乳業 保井孝文さん

デコレーションアイスの注文ですが、製造が落ち着く冬に販売するのも限界ではないのでしょうか。夏場に販売した方が消費者は喜ぶと思うのですが。



エクセルパック・カバヤ 安達千絵莉さん

経営方針などを伝える事も大切だとは思いますが、もう少し従業員に寄り添った記事を掲載してもいいのではないのでしょうか。



野津基弘社長から

10年前と代わり映えない商品のままシェア1位にあぐらをかいていたことが問題です。限界どころかセブンイレブンのデコレーションアイスは、1個5000円レベルで即日予約完売です。デコレーションアイスは、冬場のオハヨー乳業を救ってきた商品です。先達の努力を深化させていくことが我々の使命ではないのでしょうか。



野津基弘社長から

中・長期経営計画第一期がスタートし、従業員の方たちが当事者意識を持った実践例があれば伝えたいと思っています。もちろん、経営方針への疑問やアイデア…etcも随時送って下さい。必ず取材にいきます！



フジ物流 片山新一郎さん

若手社員が所属企業の問題点をあれこれ言うのは自由ですが、今までの先輩の苦労や功績を認めることも必要ではないでしょうか。



野津基弘社長から

ご存知の功績があれば、ぜひ社長室へ送って下さい！若い世代に伝えたい功績は、必ず伝えたいと思っています。よろしくお願いします。



投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見や ALL for ONE の感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。

ご意見、ご感想をお待ちします。



現場の意見や解決したい問題など、誹謗中傷以外、全て受け付けています。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室 担当:北山

Fax: 086-231-4783

Mail: info@kabaya-ohayo.jp

編集後記

シニアアドバイザー・海外事業担当のマルセル・ベルトさんのインタビューは、素直に「楽しい」と言えるものでした。世界を股にかけるビジネスマンだけに少し緊張しましたが、フランクに話し掛けてくれ、何より笑顔が印象的でした。海外での仕事ぶりも雑談を交えながら語ってくれ、ほぼ初対面の私との会話を楽しんでいるのが伝わってきました。ビジネスにおいてもコミュニケーションを重要視しており「パソコンに向かって仕事するだけなら出社する必要はない。会社はコミュニケーションを図り、アイデアを出し合う場」とのこと。グループ会社の現状を見透かされたようでした。残念なことですが、各社を取材で訪問すると言わしめられずパソコンに向かって人が本当に多い。ちょっとした会話の中からアイデアが生まれることはよくあることです。ALL for ONEのトップメッセージも、基弘社長と編集メンバーの雑談交じりの会話から生まれていることがほとんどです。まずは同僚との会話を増やす。そんな小さなことの積み重ねがInnovationにつながる大きな一歩になるのではないのでしょうか。(細川)

●「ALL for ONE」について

膨大な情報があふれる社会で、今、本当に伝えたい事を切り取りインパクトを以て皆に伝える。

同時に、3000人の従業員一人ひとりに焦点を当てて皆で支えていく、そのために発行したのが ALL for ONEです。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.10

発行: 2017年3月29日

制作: 「ALL for ONE」編集室

〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9

(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

本 社 住所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電話 086-223-7131
東京本社 住所 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電話 03-3222-7311
Website <http://www.kabaya-ohayo.com/>

オハヨー乳業株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-279-1231
Website <http://www.ohayo-milk.co.jp/>

カバヤ食品株式会社

本 社 岡山市北区御津野々口1100
電 話 086-724-4300
Website <http://www.kabaya.co.jp/>

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区中仙道2-9-11
電 話 086-241-8811
Website <http://www.sxl-kabaya.co.jp/>

フジ物流株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-278-4020
Website <http://www.fujibutsuryu.jp/>

エクセルバック・カバヤ株式会社

本 社 岡山市中区雄町394-12
電 話 086-279-8900
Website <http://www.exl-kabaya.co.jp/>

株式会社イケダペットファーム

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0883
Website <http://www.ikedabokujou.co.jp/>

東京レジャー開発株式会社

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0922
Website <http://tokyo-leisure.jp/>

株式会社システムメイト

本 社 岡山市北区芳賀5325-1 岡山リサーチパーク9-1
電 話 086-286-9131
Website <http://www.system-mate.com/>

株式会社スクエアビル

本 社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電 話 086-224-0371
Website <http://www.square-building.com/>

株式会社瀬戸内海経済レポート

本 社 岡山市北区西島田町8-9
電 話 086-805-6188
Website <http://www.visionokayama.jp/>

トータルアシスト・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング11階
電 話 086-235-4422

三友学園グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院
住 所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア1階、3～12階
電 話 086-224-2336
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/>

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス

住 所 岡山市北区島田本町1-2-12
電 話 086-239-1623
Website <http://clark.oic-ok.ac.jp/>

希望高等学園

岡山校 住所 岡山市北区幸町9-1 幸町会館4階
電話 086-232-8135
津山校 住所 津山市大手町11 みつやビル2階
電話 0868-35-2380
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/kibou/>